



10月19日開催された土師神社秋祭り「花馬」

## 9月定例会の あらまし

定例会は、9月3日から9月18日までの16日間の会期で開催されました。

藤岡市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正についてなど21議案が提出されました。

3日〓本会議 会期の決定。

議案20件を上程、うち10議案を即決。

9日〓決算特別委員会。

10日〓決算特別委員会。

12日〓本会議 一般質問。

18日〓本会議 委員会付託議案

10件を可決。市長提出追加議案

1件を即決。

# 一般質問

## 公共事業への

## 地元企業活用に

## ついて

原則等の問題もあり、受注業者にお願いや、呼びかけ等はできますが、今後の研究課題として行きたい。

ています。送付料の内容は、平成14年度3万7205通発送、郵便料・作成委託料合計で268万389円。このうち国保特別調整交付金で200万6000円補助されており市の持ち出しは67万4389円です。医療費通知のあり方については、今後十分に検討していきたいと思っております。

## 個人情報の

## 盗難について

湯井 廣志

今後は、どの様に改める考えか。

**答** 危機管理の認識が甘かったと反省しています。今後は心新たにして対応してまいりたいと考えています。

**問** 藤岡市のコンピューターセキュリティ対策及び、情報保護対策について、今後どのように対応する考えか。

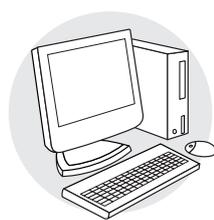
**答** 個人情報を一括管理するシステムを導入しパソコン内に個人情報を残さない等、対応します。又、今回の盗難事件を教訓として個人情報漏洩防止の再認識を徹底してまいります。

**問** 従来警備体制のほかに庁舎敷地内の夜間閉鎖また、庁舎6棟に新たに機械警備を導入し警備の強化を図りたい。

**答** 個人情報を一括管理するシステムを導入しパソコン内に個人情報を残さない等、対応します。又、今回の盗難事件を教訓として個人情報漏洩防止の再認識を徹底してまいります。

**問** 庁舎内で個人情報を盗難された市民には、どのような対応をする考えか。

**答** 個人情報を盗難された市民には、戸別訪問の実施や申請事務等の機会に全員に説明し対応しました。行政は危機管理の認識が甘過ぎるのではないか。



湯井 廣志

**問** 国・県の発注工事者に対し藤岡市内業者が公共事業をより多く受注できるように国・県へ働きかける考えはないか。又、藤岡市発注工事の業者指名選定を今後、市内業者育成に配慮する考えはないか。

**答** 国・県へは今後適切な機会に働きかけて行きたい。又、藤岡市発注工事では、市内業者に受注の機会を与えられるように配慮してまいりたい。

**問** 雇用、景気対策として市発注工事では労務者は市内雇用、建設資材は市内購入と請負業者に指導する考えはないか。

**答** 雇用及び景気対策として購買及び雇用の推進が図れば大変望ましいことと考えますが、契約自由の

**問** 国民健康保険で診療を受けた市民に医療費が記載された医療費通知を送付する制度は20年前に始まったものですが、昨今はこれに対する意見や問い合わせがほとんどありません。この送付の費用を節約し藤岡市独自の健康対策・国保事業での将来的な医療施策についてお伺いします。

**答** 医療費の通知とその効果ですが、通知により本人が支払う一部負担金の他にどれだけ医療費がかかるか認識、医療機関に受診している事を記載されている内容が確認出来れば医療費適正化が図れるものと考え

**問** 藤岡市を中心とする新しい市のまちづくりの構想に対して吉井町・新町・鬼石町、3町の反応と今後どの様に対応していくのかお伺いします。

**答** 合併という事は、相手があって初めて成り立つ議論です。1市3町お互いにそれぞれが将来に禍根を残す事なく、きちんとした議論を尽くし、進んでいく必要があると思えます。そ

**問** 国民健康保険で診療を受けた市民に医療費が記載された医療費通知を送付する制度は20年前に始まったものですが、昨今はこれに対する意見や問い合わせがほとんどありません。この送付の費用を節約し藤岡市独自の健康対策・国保事業での将来的な医療施策についてお伺いします。

**答** 医療費の通知とその効果ですが、通知により本人が支払う一部負担金の他にどれだけ医療費がかかるか認識、医療機関に受診している事を記載されている内容が確認出来れば医療費適正化が図れるものと考え

**問** 藤岡市を中心とする新しい市のまちづくりの構想に対して吉井町・新町・鬼石町、3町の反応と今後どの様に対応していくのかお伺いします。

**答** 合併という事は、相手があって初めて成り立つ議論です。1市3町お互いにそれぞれが将来に禍根を残す事なく、きちんとした議論を尽くし、進んでいく必要があると思えます。そ

## 国民健康保険 について

茂木 光雄

**問** 国民健康保険で診療を受けた市民に医療費が記載された医療費通知を送付する制度は20年前に始まったものですが、昨今はこれに対する意見や問い合わせがほとんどありません。この送付の費用を節約し藤岡市独自の健康対策・国保事業での将来的な医療施策についてお伺いします。

## 合併について

茂木 光雄

**問** 藤岡市を中心とする新しい市のまちづくりの構想に対して吉井町・新町・鬼石町、3町の反応と今後どの様に対応していくのかお伺いします。

**答** 合併という事は、相手があって初めて成り立つ議論です。1市3町お互いにそれぞれが将来に禍根を残す事なく、きちんとした議論を尽くし、進んでいく必要があると思えます。そ

の為、早期に合併協議会を設置し、その協議会の場において1市3町の合併による新しいまちづくりの構想、あるいは、それに基づくハード・ソフト事業を取りまとめ、又、新市の都市建設計画の策定や財政計画を含めて市民及び地域住民の皆さんにお知らせしていくべきだと考えています。今後、も藤岡市・商工会議所及び青年部・青年会議所・JATAのふじ・各団体を通して、今、厳しく認識している新町・吉井町に対しても今後とも努力を続けていきたいと考えています。



## 合併について

木村 喜徳

**問** 合併の形態について、3町に対しては対等合併を明言しているが、2町ないし1町であっても対等合併の形をとるのか伺いたい。

**答** 枠組にかかわらず対等合併を基本として、町の大小にかかわらず、対等に話し合うべきと考えている。

**問** 民意の反映をするの、かしないのか、しないとしたらその理由を伺いたい。

## 藤岡市を憂う

片山 喜博

**問** 新井市政の特色について市長に伺いたい。

**答** ハードからソフトへの主要事業の転換をしたい。

という中で、昨年、奨学金の引上げ、そして今年度より小学校の1年生から3年生までの医療費の無料化や今年、北ノ原幼稚園を使う

た障害児の学童ということにつきましても今、反響が大変大きく知的障害者からさらにまた身体障害者の学童もやってほしいとの広がりを見ているところです。

そういう中では、今まであまり光が当たっていなかったところにも少し光が当たられたということでは、私なりに私の色合いだということに考えており、判断力、決断力、これはいつの世も

執行者として大変大事だといふふうには思っております。昨年の選挙でも公正、公平を行政の中で進めなければならぬと訴えてまいりました。今まさにそういうことについて進んでいると自画自賛しております。

まだまだ不十分だとは思いますが、皆様方から、また、ご指摘をいただき、しっかりと考えていきたい。

## 子育て支援について

佐藤 淳

**問** 子育て支援の主たる目的を執行部は、どのようにとらえているのか伺います。

**答** 少子化の進行や共働き世帯の増大、家庭の育児機能の変化に対応した施策である。

**問** 私は子育て支援の目的は歯止めのかからない出生率にいかん早く歯止めをかけて出生率を上げていく、このことを目的として様々な施策を実施していると思

います。このような観点から、第1子、第2子、第3子に対して、区別をつけるべきと考えます。したがって保育料については、同時入所の条件を即刻見直し、第3子以後の保育料の無料化を実施すべきと考えるが

執行部の見解を伺います。  
**答** 厳しい財政状況の中、

子育て支援全体としてとらえた医療費の無料化を優先しており、第3子の無料化の実施は難しいと考えております。

**問** 子育て支援の一環で本年度から小学校3年生まで医療費の無料化を実施しましたが、現在の状況について伺います。

**答** 対象者は、全児童の75%で1516人です。4月から6月までの3カ月分で約932万円支出されており、この金額を平成15年度年額見込み額に換算しますと、当初予算に対して約96%に当たります。

**問** 来年度小学校6年生まで、医療費無料化を実施するの、か伺います。

**答** この問題は当初3年間で中学校3年生まで行うということでしたが、現在の財政事情を考えると計画どおり進めることは難しいと思っております。



## 藤高・藤女の 統合について

佐藤 淳

**問** 県との調整状況について市長に伺います。

**答** 今の県のハードルは、非常に高いと思っております。私の方はまだ今の考えを県に対して取り下げつもりはありません。県に対して進んでお願いに行ってみたいと考えております。

## 市街地活性化に ついて

吉田 達哉

**問** 古桜町の市有地活用方法について、定住人口を増やし、町中の流動人口を増やすために市営住宅の建設もしくはミニ住宅団地として分譲をする方向で検討してはいかが伺います。

**答** 中心市街地活性化の

ために活用することが重要です。ですので市営住宅や住宅団地などを含め検討します。

**問** 旧高山邸の活用方法について、市内の茶道会や華道会などに一部運営委託し、日本の伝統文化に触れ合える運営形態がとれないか伺います。

**答** 教育・文化振興に役立つ利用が望ましいので、茶道や華道及び俳句等の文化活動に利用できるよう検討します。

## 市制施行50周年 記念事業について

吉田 達哉

**問** 来年藤岡市は50周年を迎えますが、その記念事業の事業内容を伺います。

また来年はねりんピックの群馬大会が行われ藤岡市はサッカー会場になりますので、この2つの大会が同一時期に開催されることから何か関連した事業を考え

ているのか伺います。

**答** 50周年事業については、記念式典、花火大会、市民無料招待事業、祝祭イベント、テレビ公開番組の招致等を予定しています。又、ねりんピックでサッカー会場となるので50周年の冠事業でサッカー大会を計画するほか相撲協会やVリーグにお願いして、それぞれの教室が開けるよう要望していきたい。

**問** このような二つの大きな事業を行うにあたり一人でも多くの市民に見る参加だけでなくボランティアとしての参加を呼びかけ市民総参加の大会にしたいかが伺います。

**答** 50周年事業もねりんピック事業も参加する人、観衆、そして支援する人、多くの市民が係わる事が大切と考えます。事業を支えるボランティアの育成や意識の高揚を図りたいと考え、特に環境美化については、県外から多くの方がお見えになるので行政と市民

で力を合わせ取り組んで行きたい。

## 子宮がん検診に ついて

大戸 敏子

**問** 女性患者の身体的症状や精神的不安定など女性特有の症状を女性医師が同性の立場から診察するという女性専用外来は千葉県で始まり全国や群馬県でも設置の動きがあるが市の集団健診の受診率について。

**答** 基本健診の受診率は70%、結核検診47%、肺がん検診52%、子宮がん検診は18・4%、乳がん検診は18・9%。子宮がん検診の結果再検して子宮がんを発見されるのは一人でも0・03%です。

**問** 子宮がん検診受診率が他と同程度に上がれば、もっと多くの患者が発見される。子宮がん検診の受診率が低いのは検診に抵抗の

ある女性が多いからと思う。性差に配慮した健診として女性医師による子宮がん検診につき、市の考えを伺いたい。

**答** 女性医師による婦人病検診は配慮が必要と認識。現在は千葉県が女性政策として女性専用外来で健診も実施。県内の婦人科女医は15名で確保が困難。将来は前向きに対応したい。

## 色覚バリアフリー について

斉藤 千枝子

**問** 色の見え方感じ方が正常とされる人と異なる色覚障害者は、軽度まで含めると男性の20人に1人、女性の500人に1人の割合でいると推定されている。市の刊行物やホームページは色に配慮したものか。又、今後の対応について伺いたい。

**答** 色覚異常数値を藤岡

市の人口に当てはめると約1600人となる。印刷物等についてはガイドラインを作成し庁内に配布するよう進めている。外部印刷は注意を促す。ホームページ

齊藤 千枝子

## 福祉サービスについて

**問** WHOの基準での聞こえが悪くなっている人は

全国で600万人以上で20人に1人の割合である。難聴者中途失聴者は言葉を普通に話すが生活の中で不自由や不安をかかえている。

**問** 本年度より小学校での色覚検査が廃止されたが

教育現場での対応について伺いたい。

**答** 色覚異常が疑われ学校生活に支障がある場合や保護者が不安の場合は、相談の上専門的な検査が受けられる体制作りがされている。指導上の配慮徹底については指導主事が授業参観した際指導している。色覚異常対応チェックについては導入の方向で指示をした

**問** 「耳マーク」表示

について精査する。来庁した際不自由のない対応をしていく。養成講座は県で受講者15名、県の講座をPRしていく。

誘導ル

は県聴覚障害者コミュニケーションプラザで貸出している。活用しながらやっていきたい。

## 農業政策について

橋本 新一

**問** 地元で生産されたものは地元で消費できること

が一番理想的な形であります。農産物直売所などで販売はされておりますが、さらに学校給食や施設、病院などへの消費拡大について

行政と農協が中心となり、安全性、低価格、安定供給、品質、品種などについて生産者と調整し、計画的な生産出荷を計るべきと考えますが、ご見解をお伺いいたします。

**答** 消費の安全・安定志向の高まりから、地域で生産されたものを地域で消費するというのが広がっております。各地域で農産物直売所の設置や学校給食へ

の

利用促進等の取り組みが盛んに行われるようになってまいりました。本市では農産物直売所を核に消費拡大に努めているところであり、また学校関係者を交え、学校給食への導入の検討を行っています。地域のニーズに即した提供を確保する等を実施しており、今後も地産地消を進めてまいります。

## 森林政策について

橋本 新一

**問** 森林は水資源涵養や、国土、自然環境の保全など

公益的役割の多いことは、周知のところであり、本市も利根川水系の中流域に住むものとして森林の整備をすることは責務と考え

ます。そこで昨今の就職難を解消する一つの手段として、間伐や枝打ち又、下草刈りなど常用雇用ばかりでなく、期間雇用的な作業を

するための、思い切った予算措置について伺いたい

**答** 国においては景気停滞等により雇用の状況が悪化している現状を打開するため、緊急地域雇用創出特別基金事業を創設し、これを受けて、本市では平成14年度より雇用創出を目的とした森林環境保全事業を約3415万円の事業費で実施をいたしました。新規雇用者は19名で、実施期間での延べ人数は1636人です。

掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録（11月末発行予定）をご覧ください。



# 議案等審議結果（9月定例会）

番 号	件 名	結 果
<b>市長提出議案</b>		
報告11号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
報告12号	専決処分の承認を求めることについて（平成15年度藤岡市老人保健特別会計補正予算第1号）	承認（全員一致）
諮問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし（全員一致）
第60号	教育委員会委員の任命について	同意（全員一致）
第61号	藤岡市職員の退職手当に関する条例及び藤岡市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決（多数）
第62号	藤岡市同和対策審議会条例の廃止について	可決（全員一致）
第63号	藤岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全員一致）
第64号	藤岡市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について	可決（多数）
第65号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合規約の変更について	可決（全員一致）
第66号	市道路線の廃止について	可決（全員一致）
第67号	市道路線の認定について	可決（全員一致）
第68号	平成15年度藤岡市一般会計補正予算（第1号）	可決（全員一致）
第69号	平成15年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員一致）
第70号	平成14年度藤岡市一般会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第71号	平成14年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第72号	平成14年度藤岡市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第73号	平成14年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第74号	平成14年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員一致）
第75号	平成14年度藤岡市学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第76号	平成14年度藤岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第77号	平成14年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第78号	平成14年度藤岡市簡易水道事業等特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第79号	平成14年度藤岡市水道事業会計決算認定について	認定（多数）
第80号	土地の取得について	可決（全員一致）
<b>選挙・選任</b>		
	議会運営委員会委員の補欠選任	選任
第10号	藤岡新町吉井鬼石環境衛生事務組合議会議員の補欠選挙	当選
第11号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合議会議員の補欠選挙	当選

## 市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局（1211 内線2361）へ

委員長 反町 清  
副委員長 齊藤 千枝子  
委員 木村 喜徳  
青柳 正敏  
清水 保三  
吉田 達哉  
久保 信夫

紅葉前線も南下し、各地で秋の収穫祭が行われています。土師神社では、伝統の花馬、流鏝馬も復活し、五穀豊饒を祝いました。

9月定例会は、平成14年度決算認定はじめ、各議案の議決が行われました。また、9名の議員から広範囲にわたり、一般質問を行いました。

今後、市町村合併も合併特例法の期限内合併を目指し、各市町村の動きも相当、加速されるものと思われま。議会も向きに対応して参りますが、市民の皆様方からのご意見をお寄せ下さい。

編  
集  
後  
記